

## 指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和 4 年度		
施設名	秋田県奥森吉青少年野外活動基地	設置年	平成 10 年
所在地	北秋田市森吉字森吉山麓高原 1 番地		
指定管理者	特定非営利活動法人 冒険の鍵クーン		
県所管課	自然保護	課	調整・自然環境 チーム

### 1 施設の概要

設置目的	奥森吉の恵まれた自然の中で野外活動を行う機会を提供することにより、青少年の自然環境に関する意識の高揚を図り、もって自然環境の保全に関する学習の振興に寄与する。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における、当該施設の位置付け・目標 ----- 生物の多様性の確保と自然公園等の適正な管理					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として、当該施設に求められているもの ----- 自然環境学習拠点施設等の利用者数の増加					
施設の面積	エリア面積487.7ha					
主な設置施設	管理棟 1 棟、キャンプ場サニタリー 3 棟、キャンプサイト 6 0 区画					
指定管理業務の内容	料金制	有 (利用料金併用制 ・ 完全利用料金制) <b>無</b> (指定管理料制)				
	料金設定					
	サウンディング実施対象施設 ※	×	←○、×を記入			
	指定期間	R3. 4. 1	～	R8. 3. 31		
	営業期間・時間	6 月 1 日～1 0 月 3 1 日 午前 9 時～午後 6 時				
自主事業の内容	(1) キャンプ場を主とした使用許可等に関する業務					
	(2) 施設及び設備の維持管理に関する業務					
	(3) 野外活動基地の管理に関し、知事が必要と認める業務					
	(1) 小学生までの児童を対象とした夏季の組織キャンプと自然体験活動及び参加児童保護者も加えたデイキャンプ、植樹活動					
(2) 小中学生を対象にした組織キャンプ、野生生物調査及び学習						
(3) 他団体主催の流木アートでオブジェと落葉で堆肥作りに共催として協力						
直近 3 年の年間利用者数	R 2	1, 302 人	R 3	1, 590 人	R 4	1, 248 人
直近 3 年の年間料金収入	R 2	千円	R 3	千円	R 4	千円
直近 5 年の収支決算 (単位: 千円)	H 3 0	R 元	R 2	R 3	R 4	
収入計	6, 793	6, 793	6, 919	6, 781	6, 781	
利用料収入						
指定管理料	6, 793	6, 793	6, 919	6, 781	6, 781	
その他収入						
支出計	6, 571	5, 886	6, 720	7, 472	7, 062	
人件費	2, 671	2, 550	2, 945	3, 249	3, 164	
人件費以外	3, 900	3, 336	3, 775	4, 223	3, 898	
差 引	222	907	199	▲ 691	▲ 281	

※単年度維持管理・運営費が 1 億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の 2～3 年前にサウンディング (官民対話) を実施する。

## 2 観点ごとの評価

### (観点Ⅰ) 施設の設置目的(施設の目指す姿)の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

※協定書に記載した運営方針・施設の利用目標を記載  
(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

令和4年度の目標	利用者数 1,500人
----------	-------------

○指定管理者による実績報告

直近3年の実績	年度	R元年度	R2年度	R3年度
	目標	2,500	2,000	1,500
	実績	1,681	1,302	1,590
	達成率	67.2%	65.1%	106.0%
令和4年度の実績	実績	1,248人	達成率	83.2%
	具体的な取組とその効果	大雨災害により8月12日～21日まで基地への市道が通行止めになった。この間はお盆休みで利用者が最も多い時期であり、コロナの影響を受けていたリピーター、県内の利用者が増加している時期と重なってしまい、管理棟・キャンプ場とも利用者が減少した。		
令和5年度の目標(設定根拠)	目標	利用者数 1,500人		
	設定根拠	前年までの続いたコロナによる移動制限等は解除され、以前のようにリピーターや県内の家族による宿泊、日帰りキャンプが期待できる。さらに法人主催のイベント等で利用者の増加に努める。		

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

### (観点Ⅰ) の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	B	令和4年度の目標は達成できなかったが、大雨被害による市道の通行止めの影響を受けなければ、概ね目標に近づけた。
	県(所管課)	B	

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

## (観点Ⅱ) 施設の有効性(利用者の満足度)の向上に関する取組

### 【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度の状況 (直近3年)	R元年度	R2年度	R3年度	
	89.4%	91.8%	88.6%	
令和4年度の実績	実績	91.0%		
	具体的な取組とその効果	満足度の評価は高く昨年よりポイントが上がった。不満足が目立って多かったのが電話が繋がらず予約できないことと、Wi-Fi、シャワーの利用要望が多かった。このことは関係機関と協議したい。		

## (観点Ⅱ) の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	
県(所管課)	A		

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A：満足度80%以上 B：A及びC以外 C：満足度60%未満

## (観点Ⅲ) 効率性の向上等に関する取組

### (1) 経費の低減

#### 【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	経費の低減実績	経費は全体で約6%減少した。特に消耗品は50%、修繕費は約28%減少した。
	具体的な取組とその効果	施設設備の老朽化による経費の節減については今後県と協議してい

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

### (2) 収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

#### 【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和4年度の実績	収入の増加実績	
	具体的な取組とその効果	

### (観点Ⅲ) の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	概ね指定管理料の額で適正かつ効率的に運用している
	県 (所管課)	A	指定管理料制施設であり、経費削減に務めながら運営されている。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A：(1) 経費の低減、(2) 収入の増加とも前年比で5%以上改善

B：A、C以外

C：(1) 経費の低減、(2) 収入の増加とも前年比で5%以上悪化

### (観点Ⅳ) 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

#### 【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和4年度 の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人員配置と業務 施設の管理運営に必要な人員を配置し、利用者の受付、エリアを定期的に巡回し施設の安全等に努めた。</li> <li>○環境整備 キャンプ場建物及び草地については快適に過ごせるよう清掃、草刈りを行った。</li> <li>○情報提供 利用者には野生生物との関わり方を伝え、道路情報、危険箇所等は玄関ホールの白板に表示した。又、携帯電波が弱いので通話可能な場所を伝えている。</li> <li>○利用者増の取り組み 当法人ホームページの活用で情報伝達、生物多様性キャンプ、他団体とのイベントで集客に努めた。</li> <li>○コロナ対策 管理棟、サニタリーとも定期的に除菌対策を行い、感染予防に努めた。</li> </ul>
--------------	--

### (観点Ⅳ) の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	実績報告書に記載のとおり、施設の管理運営等、指定管理業務は適正に行っている。
	県 (所管課)	B	管理運営に関して重大な問題点は見受けられない。

【評価基準】 A：順調（改善点なし）、B：概ね順調（重大な問題点なし）、C：改善が必要（重大な問題点あり）

県（所管課）の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

## 【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

### ○県の施策の達成状況

(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

- ・奥森吉エリアの活動拠点としての役割を果たしている。

### ○施設運営の課題

- ・施設の老朽化。
- ・近隣の閉鎖施設の解体撤去。

### ○今後の方向性

(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)

- ・関係機関等との意見交換等を通じて、利活用の推進を図る。